



みなみしょう

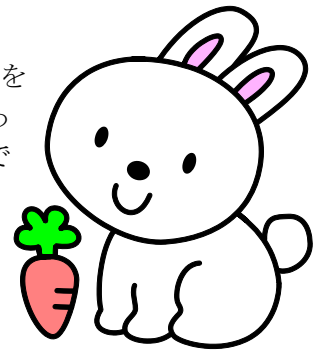
南小だより R4

白石町立有明南小学校
令和5年1月10日
第15号 文責 武富 通

教育目標「豊かな心もち よく考え 進んで実践する子どもの育成」 笑顔でCha! Cha! Cha!

◇まどめの3学期スタート!

いよいよ1年間の締めくくりである3学期が始まります。2学期の終業式で、新年を迎えるにあたり、何か自分の目標を決めてほしいという話をしましたが、今年のめあては決められたでしょうか。めあてを決めて努力することは、とても大切なことです。下記のような言葉があります。



心が変われば	態度が変わる	態度が変われば	行動が変わる
行動が変われば	習慣が変わる	習慣が変われば	人格が変わる
人格が変われば	運命が変わる	運命が変われば	人生が変わる

この言葉は、メジャーリーグで活躍した松井秀喜さんもこの言葉を座右の銘とし努力したそうです。一つの目標を強く心に決め、実現するために何をしたらよいか考え、実際に行動していくと、最終的には自分の人生を変えることができるという意味です。

令和5年という新しい年を迎えた今は、新たなめあてを考え、実行していくのにとっても適している時期です。ぜひ、新しいめあてを決め、そのために具体的に何をしたらよいか考え、実際に行動してみる。三日坊主でも構いません。まずは、心に決めて行動してみる事が大切です。自分の人生を変えるかもしれない行動を起こしてみてください。

さあ、3学期が始まります。子どもたちには、漠然と日々を過ごすのではなく、めあての実現に向けて具体的に行動を起こしてほしいですし、頑張る子どもたちを家庭と学校が連携しながらしっかり見守っていきたいと思います。3学期もご協力をよろしくお願いいたします。

◇子育て・親育ち「うちの家訓」 佐賀県PTA新聞より

礼儀を忘れないように 多久市立東原摩舎東部校P会長

我が家は高校3年の長男、高校1年の次男、小学5年の長女、妻、祖父母と7人で生活しています。



これが家訓だというようなことは決めていませんが、普段からあいさつや返事、感謝の気持ちを口に出して言うことをしようと話をしています。長男、次男は小学生から野球を始めて今も続けています。その中であいさつ、返事はしっかりできています。感謝の気持ちを伝えることを心がけるように毎回話しています。

友だちの家に遊びに行った時、何かをしてもらった時にすぐに感謝の気持ちを伝えること。小さな事ですが、こういった礼儀を忘れることなく、心身ともに成長できる家族でいたいと思います。

言葉の伝え方を大切に 伊万里市立大川小P会長

日頃より子どもたちに言葉の使い方、気持ちの伝え方を大切にしないと伝えていきます。

相手に何かを伝えたい時、内容は同じであっても選ぶ言葉や言い回しで、相手側の受け取り方が全く違ってしまふことがあるからです。

現代はSNSなどの文字で相手に伝える機会が増えています。直接話す場合と違い、文字にすると、こちらが期待するニュアンスが伝わりにくいように感じます。そのせいで誤解が生じ、関係が悪くなってしまうこともあるのではないかと危惧しています。そのようなことが起きないように、日ごろから人と接する時は、その言葉を受け取った相手がどう感じるかを考える習慣を身に付けてくれるように願っています。

年末、年始は、家族が過ごす時間もゆっくりあり、子どもたちといろいろな話をされたのではないのでしょうか。「家訓」とまでは言わないにしても、家族の語り合いの場で大切にしたいこと、子どもたちへの願いを話題にされることも多いのではないかと思います。このような時間は、子どもたちの成長にとって、とても大切なものであると思います。今後も、ぜひ具体的な場面をとらえて、子どもたちに伝えてあげてください。そして、子どもたちの小さながんばりや成長をほめてあげてください。そのことにより、子どもたちは、自信を深め、さらに伸びていきます。子どもたちの伸びしろは、無限です。